

市議会だより

くにだ せいや
題字：国田 聖也さん（江津清和養護学校）



第2回全国高校選抜女子セブンズラグビー大会初優勝
石見智翠館高校女子ラグビー部

2013.5
No.115

3月定例市議会報告

- ◆議会の動き・予算審議 2～5
- ◆常任委員会審査 6・7
- ◆行政に問う（一般質問） 11～15

平成25年 3月(第1回)定例会日程

2月28日	本会議 (議案上程・提案説明・質疑・討論・採決) (議案上程・提案説明・質疑・委員付託)
3月5日	本会議 (議案上程・提案説明・質疑・委員付託) (一般質問)
6日	本会議 (一般質問)
7日	委員会 (総務文教委員会)
8日	委員会 (建設厚生委員会)
11日	委員会 (予算委員会)
12日	委員会 (予算委員会)
19日	本会議 (議案上程・提案説明・質疑・討論・採決) (委員長報告・質疑・討論・採決)

3月議会定例会

平成25年第1回議会定例会が、2月28日から3月19日までの20日間の日程で開かれ、平成25年度当初予算を初め、市長提出議案51件、議員提出議案2件が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

一般質問では9名の議員が市政全般にわたって、市長の考えをたどりました。



予算委員会現地調査 川平地区 土地利用一体型水防災事業

【3月定例会】

●市長提出議案

- ・ 条例議案25件
- ・ 一般議案3件
- ・ 予算議案19件
- ・ 同意議案3件
- ・ 報告議案1件

いずれも承認・原案可決・同意しました。

【同意議案】

・ 功労者の選定については次の方々の選定に同意しました。

- 佐々木要氏
- 平野達雄氏
- 水船弘利氏
- 横田秀史氏
- 高木潤二氏

・ 公平委員会の選任については本藤三世子氏の選任に同意しました。

●議員提出議案

◎条例2件

議案第1号 江津市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

議案第2号 江津市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定につ

いて

◎請願2件

請願第1号 過労死防止基本法制定に関する意見書の提出について
請願第3号 個人保証の原則廃止を求める意見書の提出について

いずれも採択されましたが、江津市議会の申し合わせにより意見書の提出は全員賛成の場合と限られていますので提出されません。

◎陳情1件

陳情第5号 生活保護基準の引き下げはしないことなど国に求める意見書の提出について
賛成少数により不採択。

* 陳情第5号 12月議会で継続審査となっていたものです。
* 請願第2号 緊急事態基本法の早期制定を求める意見書の提出については継続審査となりました。



予算委員会現地調査 水の国

～平成24年度 3月補正予算決まる～

平成 24 年度 一般会計 補正予算	5,705 万 5 千円増	内容 国の補正予算に伴う事業と、各事業の実績及び決算見込みを算定したもの。 地域医療等支援対策事業や都市公園事業、また、住環境整備事業等について補正をしたもの。
	補正後の予算総額 146 億 5,719 万 9 千円 (参考) 昨年度同月予算総額 162 億 9,495 万 9 千円	

特別会計補正予算 水道事業会計除く	1 億 8,158 万 8 千円減	内容 決算見込みについて、所要の補正をしたもの。
	補正後予算総額 53 億 9,614 万 9 千円 (参考) 昨年度同月予算総額 53 億 5,001 万 2 千円	

～平成24年度 3月補正の主要事業～

事業名	予算額	事業の概要
地域医療等 支援対策事業	580万6千円	精神病床に対する補助や非常勤勤務医支援の増額分と、救急勤務医支援の減額分を調整したもの。
都市公園事業	△2,230万円	中央公園野球場スコアボード等の改修の事業費確定により減額したもの。
住環境整備事業	3,060万円	国の補正に対応するもので、東高浜市街地整備事業に補正予算債を充当するもの。

◆審査内容

問 市職員の時間外手当が増額補正されている理由は。

答 時間外手当については、トータルとして前年度を下回る見通しだが、当初予算で厳しく見積もっていたため、今回増額を計上した。

江津市議会は、『市民に開かれた議会』をめざして、議会改革に取り組んでいます。

議会報告会の開催決定！

平成25年度 1 回目の議会報告会を開催することといたしました。

議員が市内 4 地区（中学校区）に分かれて、3 月定例会の内容をお伝えしますので、多数のご参加をよろしくお願いいたします。なお、日時会場等の詳細はこの議会だより最終ページに記載しておりますのでご覧ください。

平成 25 年度当初予算決まる

一般会計	147 億 5,100 万円 (参考) 昨年度当初予算額 143 億 8,600 万円	特別会計	50 億 6,878 万 8 千円 (参考) 昨年度当初予算額 52 億 4,543 万 2 千円
-------------	--	-------------	--

～平成25年度当初予算の主要事業～

事業名	予算額	事業の概要
地域コミュニティ活性化事業	951万1千円	コミュニティ実践事業—地域活性化に係る経費補助 (交付団体：黒松、浅利、跡市、松平) コミュニティづくり事業—地域づくり推進経費補助 (交付団体：嘉久志、二宮、都治、有福温泉、敬川)
私立高等学校振興事業	4,400万円	学校法人江の川学園の財務状況が厳しいため、本市に与える経済効果等を考慮した支援補助金。
高校支援対策補助事業	459万2千円	支援対策補助金—市内県立高校の教育環境の向上、特色ある教育等への支援を図る。 通学バス運行事業—公共交通機関の運行のない夕方の時間帯帰宅用に1便。
統合保育所整備事業	3億2,090万6千円	施設の老朽化対策及び少子化に対応した保育所運営を進めるために「川戸保育所」と「市山保育所」を統合して新たな保育所を建設し、公設民営方式で平成26年4月1日より開所する。
地域医療支援対策事業	2億6,025万9千円	済生会江津総合病院等が行う医師・看護師等の確保対策及び離職防止対策として行う各種事業に対し補助金を交付する。また、再編計画など経営改善の取り組みに対し財政支援を行うことで地域医療体制の維持・確保を図る。
企業立地推進事業	2,008万6千円	産業振興、雇用確保のため、通信費、家賃、工業用水等の補助金。
有福温泉総合観光開発事業	300万円	火災跡地について、駐車場やポケットパークなどの整備を行い、観光客の利便性の向上と温泉街の再生を図り、観光客増につなげるための実施設計を行う。
通学路整備事業	4,415万円	平成24年度に実施した通学路点検結果に基づき、市道に関わる緊急性の高い通学路整備を実施し、通学児童の登下校中の事故防止を図る。事業対象箇所—浅利中央線
土地利用一体型水防災事業	3,545万円	江の川の増水により、幾度となく冠水し被害を受けている川平地区において、JR川平駅より上流区域の合意が得られたことから、国土省と江津市が一体となって事業を行う。
中心市街地整備事業	9億4,416万9千円	公共公益複合施設、交流広場及び駐車場の整備並びに隣接した市道御幸通線及び水源地通線を拡張整備し、駅前地区の活性化を図る。用地買収・家屋移転補償及び市営駐車場の解体を行う。
小学校施設耐震化事業	1億9,497万1千円	耐震二次診断の結果、補強の必要な建物と診断された学校について、補強工事を行う。 事業対象箇所—高角小学校、江津東小学校各屋内運動場

◆審査内容

問 地域コミュニティ活性化事業について、各地域から上がった計画は市のほうでカットしたり規制したりすることはないのか。

答 事業によってソフト部分の充実が望まれるものは遅らせたり、他の制度があるものはそちらを選択してもらおうが、基本的には各地域から出た計画を尊重し、予算化する。

問 済生会江津総合病院の支援について、会長は県知事であるのに県からの支援が弱いように思えるがいかがか。

答 県は、これまでも無利子貸し付けや高砂病院の介護老人福祉施設への転換など相当な支援や配慮をしている。市の支援の在り方については、過疎債が使える間は市の一般財源で手当てせず、今回は過疎債が充当できるハード整備に着眼して、資金不足等が起こらないように支援していく。

問 コミュニティビジネス創出支援事業について、総額500万円の中でコンテストの運営費に226万円も費やし、コンテスト賞金・活動費支援金100万円は少ない。コンテストを運営する為だけの事業になっていないか。

答 運営をする為だけのコンテストではない。確かに運営費は必要だが、受賞された方はコンテスト賞金・活動費支援金100万だけではなく、産業競争力支援事業による支援や県の財政支援制度があり、実際に創業されると創業者支援資金等、水面下に色々な支援制度がある。

問 石州瓦利用促進助成事業について、本市は住宅を新築、屋根の葺き替えを行う場合、赤瓦を使用すると支援制度があるが、赤瓦以外の色の瓦にも支援出来ないか。

答 当初は赤瓦以外も助成していたが、石見地方の特徴となっている石州赤瓦家並み保全、創出の為、他の色の瓦は支援していない。

問 放課後児童クラブでの児童の受け入れ状況は。

答 平成25年度の申し込み者数では、高角・桜江・津宮の児童クラブで定員オーバーとなるが、高角と桜江は委託先の社会福祉協議会との協議で全員を受け入れることとなった。津宮も旧津宮幼稚園を改修して、全員を受け入れる。現時点で待機児童はいない。

問 担い手育成事業の内訳と新規就農者の状況は。

答 内訳は人・農地プラン作成経費の57万6千円と、そのプランで規定される新規就農者への支援の150万円。新規就農者支援は国からの支出であり、5年間継続される。適用される就農者は桜江町田津と今田で水稲やゴボウなどの有機栽培に取り組む。

討 論 内 容

☆議案第26号

平成25年度島根県江津市一般会計予算を定めることについて

Ⅱ 反対討論

多田 市長は24年度に続き、施政方針で「定住施策の再構築」を最大の課題としたが、24年度予算は人口減を止められなかったのに、25年度予算案は継続事業がほとんどで、定住対策での目玉もない。また、地域コミュニティ事業は明確な展望を示せず、非正規保育士などの官製ワーキングプアを放置し自己責任論で片付けており、行政の責任を果たしていないため反対。

Ⅱ 賛成討論

永岡 本予算は、第5次江津市総合振興計画後期計画の定住促進4大プロジェクトにそって、

①子育て環境の整備

②教育力の向上

③雇用の場の確保

など7つの主要テーマのもと、限られた財源を有効に配分する中で、一般財源総額に視点を置いた予算編成となっている。特に「基金からの繰入を最小限に抑え、一般財源総額のバランスを勘案しつつ、事業費調整を行

う」方針のもと、必要かつ効果的な予算編成となっており賛成。

☆議案第27号

平成25年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計予算を定めることについて

Ⅱ 反対討論

多田 保険給付費は国保会計歳出約30億円の2/3を占めるが、がん検診・メタボ健診や生活改善指導などでこれを抑える取り組みが不十分で、検診の受診率目標値が低い。24年度の取り組みの実績に従ってのものだが、24年度も不十分だったのに、取り組みの改善が見られないため反対。

Ⅱ 賛成討論

島田 医療費の伸びが国保財政運営に与える影響は大きく、安定した国保運営を行うためには、保険事業の推進や医療費の適正化を進め、医療費の抑制を図る必要がある。このたび提案された予算では、レセプト点検、ジェネリック医薬品、重複多受診等の医療費の適正化や保険事業の更なる促進の取り組みが見られるため賛成。

常任委員会
審査内容

総務文教委員会

委員会に付託された、請願1件、議案6件について審査を行い、いずれも採択及び原案のとおり可決すべきものと決した。

◆個人保証の原則廃止を求める意見書の提出について（請願）

Ⅱ 内容Ⅱ

保証契約における個人保証が、保証人の経済生活に影響を及ぼす可能性があるため、原則として個人保証を廃止することを求めるもの。

【委員質問】

【問】保証されなくなる
と、金融機関からの「貸し渋り」が起り、融資を受けにくくすることになるのではない

か。

【答】「原則として廃止」であり、経営者保証については当面の例外とすることが妥当と考えらる。（紹介議員からの答弁）

◆江津市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について

Ⅱ 内容Ⅱ

国の新型インフルエンザ等対策特別措置法の規定に基づき、江津市新型インフルエンザ等対策本部の設置など、必要な事項を定めるもの。

◆江津市防災会議条例の一部を改正する条例の制定について

Ⅱ 内容Ⅱ

国の災害対策基本法の改正にともない、地域防災計画における防災会議のメンバーに、地域の自主防災組織構成員や学識経験者を追加し、定員を30人から35人に増員するもの。

【委員質問】

【問】本市での自主防災組織の動向は。

【答】現在、自主防災組織が12地区、自主防災会が14組織で立ち上がっている。

◆江津市災害対策本部条例の一部を改正する条例制定について

Ⅱ 内容Ⅱ

国の災害対策基本法の改正にともない、江津市災害対策本部条例の字句を改定するもの。

◆江津市特別会計条例の一部を改正する条例制定について

Ⅱ 内容Ⅱ

住宅新築資金等貸付事業特別会計は、平成10年以降では新たな貸付がなく、償還金の徴収と起債の償還事務を行っており、平成24年度で償還がすべて終わるため、特別会計そのものを廃止するもの。

◆江津市過疎地域自立

促進計画を変更することについて

Ⅱ 内容Ⅱ

計画に新規事業の追加と区分変更など過疎対策事業の変更を行うもの。

◆公の施設にかかる指定管理者の指定について



サンピコごうつ

Ⅱ 内容Ⅱ
平成25年3月31日で指定期間が満了となる江津中央公園・道の駅「サンピコごうつ」の2施設と、市直営から指定管理者制度に移行する江津市定住促進住宅・都市再生住宅の2施設について、指定管理者を決定するもの。

【委員質問】

【問】江津中央公園の指定管理期間が1年の理由は。

【答】現在、球場を改修中で、平成25年度は公園施設長寿命化計画の検討があることと、民間から指定管理者についての問い合わせもあり、公募も想定されることを勘案して1年とした。

建設厚生委員会

委員会に付託された条例議案16件、一般議案1件については、いずれも原案の通り可決すべきものと決した。

◆江津市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定について

◆江津市市道の構造の技術的基準等を定める条例の制定について

【問】定住促進住宅と都市再生住宅の管理について、桜江地区住民の窓口対応はどうなるのか。
【答】基本的には、指定管理者となる県の住宅供給公社（最寄の窓口は浜田市）での対応だが、桜江支所または市役所都市計画課でも受け付ける。

◆江津市市道の構造の技術的基準等を定める条例の制定について

◆江津市移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例の制定について

◆江津市準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定について

◆江津市営住宅等の整備基準に関する条例の制定について

Ⅱ 内容Ⅱ

この5件については「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の施行に伴い、制定が必要となる、基準等を条例で定めるため制定するもの。

【委員質問】

【問】江津市においてこの基準にどう対応していくのか。

【答】すでにある基準で合っていないものは今後改修等にあわせて基準に適合させていく。罰則の必要が出てくるようであれば、地域の実情に対応した形で裁量権に基づいて対応できる。

◆江津市都市公園条例の一部を改正する条例制定について

Ⅱ 内容Ⅱ

都市公園の配置及び規模に関する技術的基準についての規定の追加、並びに市民球場の

スコアボードの改修に伴う使用料の改定について所要の改正を行うもの。



新しくなったスコアボード

【委員質問】

【問】電光掲示のスコアボードについてメーカーの保証年数は何年か。また保証年数を過ぎて以降の維持費等を考えると使用料が安いのではないか。

【答】保証年数は2年。スコアボード使用料については、市民の皆様に使ってもらわないと何にもならない。そのためしっかりと利用していただくための単価設定とした。今後は適切な時期に見直ししていく。

【問】具体的な見直しの

検討はいつになるのか。

【答】合併特例債の5年間の延長に合わせ、26年度において新市建設計画の見直しを行うこととなるが、財政計画の中ですべての使用料についても見直しの検討を行う。

◆江津市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について

Ⅱ 内容Ⅱ

東部簡易水道の給水区域と松平簡易水道の給水区域が一体となることから、所要の改正を行うもの。

◆江津市有料駐車場条例を廃止する条例制定について

Ⅱ 内容Ⅱ

市営玉江駐車場の廃止に伴い条例を廃止するもの。

【委員質問】

【問】現在月ぎめで利用されている方々の対応はどうするのか。



廃止した市営玉江駐車場

もある。法整備については解散総選挙で中断したものの、着実に進んでおり、あえて意見書を提出することには疑問がある。

Ⅱ 賛成討論Ⅱ

なし

Ⅱ 結果Ⅱ

賛成多数により採択。

り採択。

【答】すでに説明をして、3月末で移動していたべくように対応している。市民に対しても駅の駐車場を利用していただくよう周知の徹底を図る。

●陳情

◆生活保護基準の引き下げはしないことなど国に求める意見書の提出について

昭和25年の法律制定以来、抜本的な改正が行われていないため、現在の情勢にあつていない。

※昨年の12月議会で付託されたが、当時、国において検討がなされ

採択。賛成少数により、不

●請願
◆過労死防止基本法制定に関する意見書の提出について

Ⅱ 反対討論Ⅱ

趣旨はよくわかるが、請願事項にある「過労死があつてはならないこと」は憲法25条第2項で、また事業主の責務は労働基準法で明確化されており、罰則



※憲法

第25条

すべての国民は健康的で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

2 国はすべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

議案等の議決結果

議案番号	件名	議決結果		多	横	藤	山	森	島	茅	石	益	藤	土	田	山	永	福	河
				田	田	間	根	脇	田	島	橋	子	田	井	中	本	岡	原	野
				伸	省	義	兼	悦	修	昇	孝	原	厚	正	直	文	静	昭	正
				治	吾	明	三	郎	二	昇	義	生	厚	人	文	誉	馬	平	行
議案第28号	平成25年度島根県江津市国民健康保険診療所事業特別会計予算を定めることについて	3月19日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	平成25年度島根県江津市後期高齢者医療事業特別会計予算を定めることについて	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	平成25年度島根県江津市公共下水道事業特別会計予算を定めることについて	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	平成25年度島根県江津市簡易水道事業特別会計予算を定めることについて	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	平成25年度島根県江津市農業集落排水事業特別会計予算を定めることについて	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	平成25年度島根県江津市水道事業会計予算を定めることについて	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	平成24年度島根県江津市一般会計補正予算(第6号)を定めることについて	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	平成24年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)を定めることについて	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	平成24年度島根県江津市国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第1号)を定めることについて	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	平成24年度島根県江津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)を定めることについて	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	平成24年度島根県江津市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)を定めることについて	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	平成24年度島根県江津市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)を定めることについて	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	平成24年度島根県江津市簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)を定めることについて	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	平成24年度島根県江津市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)を定めることについて	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	平成24年度島根県江津市公共用地先行取得等事業特別会計補正予算(第1号)を定めることについて	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	平成24年度島根県江津市水道事業会計補正予算(第3号)を定めることについて	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	市長等の給与の特例に関する条例の制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	教育長の給与の特例に関する条例の制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	職員の給与の特例に関する条例の制定について	〃	〃	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	平成24年度島根県江津市一般会計補正予算(第7号)を定めることについて	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第2号	公平委員会委員の選任について	〃	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第3号	功労者の選定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第1号	専決処分報告について(3/4専決第1号)	〃	—																
請願第1号	過労死防止基本法制定に関する意見書の提出について	〃	採択	○	○	○	●	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	●
請願第3号	個人保証の原則廃止を求める意見書の提出について	〃	〃	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
陳情第5号	生活保護の引き下げはしないことなどを国に求める意見書の提出について	〃	不採択	○	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●

議 長

議案等の議決結果

議案番号	件名	議決結果		多	横	藤	山	森	島	茅	石	益	藤	土	田	山	永	福	河
				田	田	間	根	脇	田	島	橋	子	田	井	中	山	永	福	河
				伸	省	義	兼	悦	修	昇	孝	原	厚	正	直	本	岡	原	野
				治	吾	明	三	郎	二	義	義	生	人	文	誉	馬	平	行	
同意第1号	功労者の選定について	2月28日	同意	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第1号	江津市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	〃	可決	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	江津市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	江津市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について	3月19日	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	江津市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	江津市市道の構造の技術的基準等を定める条例の制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	江津市移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例の制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	江津市準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	江津市営住宅等の整備基準に関する条例の制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	江津市防災会議条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	江津市災害対策本部条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	江津市特別会計条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	江津市手数料条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	江津市福祉事務所設置条例等の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	江津市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	江津市都市公園条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	江津市公共下水道条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	江津市都市下水道条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	江津市営住宅管理条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	江津市定住促進集落活性化住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	江津市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	江津市有料駐車場条例を廃止する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	江津市過疎地域自立促進計画を変更することについて	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	公の施設に係る指定管理者の指定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	建設工事委託に係る協定の変更協定の締結について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	平成25年度島根県江津市一般会計予算を定めることについて	〃	〃	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	平成25年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計予算を定めることについて	〃	〃	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長

○ 賛成 ● 反対 △ 欠席 斥 除斥



請願第 3 号

個人保証の原則廃止を求める意見書の提出について

反対討論

山根 経営者保証の棚上げ、貸付が抑制的になるなど、委員会の審査ではその細部にわたる資料や法的中身の検討には及びことができず、また法改正後の影響についても検証もかなわず、議会として責任ある結論に至ることは難しいと考える。

賛成討論

多田 昨年の自殺者 2 万 7858 人のうち、5219 人の自殺理由が「経済・生活」で、不況に苦しむ中小業者の自殺も全国で相次いでいる。その原因に、経営に失敗すれば経営者自身だけでなく保証人に重大な悪影響を及ぼす、個人保証制度がある。欧米では、数十年前に金融機関の個人保証制度は廃止されている。国民の生命を守るためにも、個人保証制度を廃止すべき。

藤間 保証制度の改革は喫緊の課題である。とりわけ個人保証制度は、破産等の主要原因となっており、保証人の親族にも破壊的な影響を及ぼしている。年間 3 万人超の自殺者のうち、個人保証を起因としたと思われる方が含まれている。このような深刻な被害と社会的損失を発生させている個人保証制度は、原則として廃止すべき。

請願第 1 号

過労死防止基本法制定に関する意見書の提出について

反対討論

山根 請願者は過労が自殺の原因としているが、資料からは精神障がい起因するものともみうけられ原因への考察が不十分である。法律案について、現行法との関連や責任の所在など疑問があり立法化するには理由が乏しく、必要であるという結論にはならない。

賛成討論

多田 毎年、労災で過労死と認められたものだけでも約 200 人が亡くなっている。原因は労働者を酷使して利益を追求する労働環境にあり、労働基準法や労働基準監督署が有効に機能していないことから、法整備が必要。自公政権が法整備を進めようとしているなら、本議会として後押ししていくためにも請願に賛成。

横田 過労死は拡大しており、残された多くの家族や雇用者にとって大きな損失である。しかし、個人や家族、個別企業の努力だけでは過労死の改善を図ることは容易なことではない。国が法律を定めて対策を強力に推し進めてゆく必要があり一日も早い制定を要望し賛成。

議案第 46 号

職員の給与の特例に関する条例の制定について

反対討論

多田 デフレ不況脱却には、賃金引き上げが必要で、安倍首相も認めるところであるのに、1 億 5 千万円も職員給与を下げれば、消費が失われ市内経済が縮小する。昨年、総合振興計画で人口増の目標を自ら掲げながら、財政難の理由付けに将来の人口減を挙げており支離滅裂。また、職員給与減額を対価に、市民への使用料・利用料を値上げしようとしていることもあり反対。

賛成討論

藤田 本市の財政見通しは極めて厳しいものと、職員労働組合も実情を理解し、削減提案に対し将来を見据え受け入れたとされたことであり一日も早い財務体質の改善が必要であり、そのことが市民サービスの向上につながるため賛成。

陳情第 5 号

生活保護基準の引き下げはしないことなど国に求める意見書の提出について

反対討論

田中 生活保護制度は、税金を財源とし、社会の連帯で助け合う仕組みであり、その基準は適切に設定する必要がある。不正受給などが報道される中、厚生労働省では、基準決定の一方で職業訓練や就業体験など自立に向けた支援強化や働ける方、働くことが困難な方、受給者それぞれに配慮した仕組みづくりも検討していることから現時点での意見書提出について反対。

賛成討論

多田 生活保護基準が引き下げられれば、受給世帯の 96% が影響を受け、最大で 10% 保護費が下がり、憲法 25 条が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」が果たせない。「最低賃金や年金より生活保護の基準が高い」のが問題なら、生活保護を下げるのではなく、最低賃金や年金を上げるべきで、地方自治体として国へそれらの負担や制度の確立を求めるべき。

市民の声を行政に問う

※原稿は質問した議員自身が必要をまとめたものです。

自治組織

地域コミュニティでできない事業は

市長／行政が対応する



多田 伸治

問 公民館を地域コミュニティセンターに変えるとしているが、公

民館活動は別会計にし、行政や住民が確認できるようにすべきでは。

答 地域での教育・文化活動がなくならないよう、何らかの報告をしてもらおうことになる。と考える。

問 実践事業は「住民の総意」を進めるはずが、組織が立ち上がって関心を持つ住民さえ「何をやっているのかわからない」という地域がある。そのような事業を認めるのか。

答 どの地域のことか想像はつくが、担当職員が指導にあたる。試行錯誤しながらでも取り組む。

問 先進地である雲南市を視察したが、市が地域マネージャー以外に人員を配置している。地域を支える人員配置が必要ではないか。

答 地域の実情に合わせて、地域で対応していただく。地域を挙げて取り組みつつ、市職員による支援を模索する。さらなる人員配置が必要であれば検討する。

問 高浜と本町・金田・島の星の連合自治会で一つのコミュニティとされている。人口の少ない地域が軽視されるとの指摘があるが対応は。

答 平成29年度までに組織の立ち上げができるよう、職員を配置して推進する。

問 説明会で「地域コミュニティ組織ではできない事業を誰がやるのか」の問いに、「管理責任を負う行政が行う」と答えたが、確かか。

答 地域コミュニティ組織でできない場合は、県や市などの管理者が対応する。

観光施策

江津ブランドのPRを

市長／効果的に情報発信



山根 兼三郎

問 田中市長は石見神楽広域連合協議会会長に就任された。これからの振興策は。

答 観光は定住も含め交流人口拡大と大変重要な産業。石見神楽を観光産業として融合する取り組みを行うため、協議会では保存継承の担い手の育成、常設神楽殿の整備等をしていく。

問 後期総合振興計画の観光PRの推進にある、双方向によるリアルタイムの情報提供と

は。

答 県が運用している「※いいにゃびしまね」に市の情報を詳細に掲載している。また3月から県内8市で初めて公式フェイスブックページの運用を開始した。

問 市のブランドを発信していくためにも、光ケーブルや公衆無線環境などの情報網の整備が必要では。

答 市単独で光ファイバー網の敷設は困難。市東部への敷設は粘り強く民間業者と交渉を進める。



※いいにゃびしまね

端末のGPS機能で周囲の観光地、公的機関、店舗、イベント情報を検索し地図上に表示できるアプリ

駅前再生

複合施設に図書館を

市長／図書館は含まない



島田 修二

複合施設の機能について議論が集中しており、まとめの段階まで行かない状況。

【問】江津市図書館・歴史民俗資料館の建設時期の決定と、建設場所について、教育委員会の見解は。

【問】駅前公共複合施設に対する市民アンケートの調査結果と市民の要望、そして中心市街地活性化基本計画の策定上の問題点は。

【答】広く市民の意見を集約し意向を把握するため市民アンケートを行った結果、現計画の公共複合施設の利便意図は全般的に低く、施設に対する期待は薄い。もっと利用しやすく、整備が求められるような施設整備が求められている。

【答】基本計画では、平成26・27年度で建設工事を実施する予定としていたが、小学校の第2次学校再編計画による学校建設を優先し、中期財政推計では、学校建設後に実施することとなっており、財源が伴うことから、市長部局で判断する。建設場所については、教育委員会として、総合的に判断したところ、シビックセンターゾーンの市民センター周辺が、最もふ

さわしい場所と考えている。

【問】本市で最も重要な課題である中心市街地活性化・駅前再生の早期実現のため、市民の要望が極めて高く、必要性も高い図書館を公共複合施設に融合しては。

【答】公共複合施設に図書館を入れるのか、入れないのか様々な考えがあることは充分承知しているが、公共複合施設には図書館は含めない。図書館は、あらゆる行財政改革を進める中で、シビックセンターゾーンの市民センター周辺に、平成30年代前半に建設する。



駅前で行われたてつなぎ市

消防団定数は正

市長／検討を進める

危機管理



横田 省吾

過疎化、高齢化により消防団への期待は高く、慎重に対応してきたため。

【問】団員1名で何人の市民を見ているかというところ、本市は38名、浜田市58名、益田市60名、雲南市28名、本市は下から2番目で松江市92名と比べ2倍の団員数であり、本市の定数は多い。定数の削減が必要ではないか。

【答】分団再編等、組織全体について、見直してゆく必要があるが東日本大震災以後、大きな機動力を持つ消防団への期待は高く、多様な観点から考える必要がある。消防委員会や、消防団自体において、どの程度の員数が適当であるのか検討を進めてゆく。

【問】市職員の消防団への加入についての考えは。

【答】職員の在住地域と不足する分団とのミスマッチがあり分団と相

談しながら進める。



平成25年出初式

【食物アレルギー】
【問】昨年、東京の小学校で食物アレルギーによる死亡事故が発生している。本市の対応は。

【答】全児童生徒に対してアレルギー調査を実施している。対応食希望は28名、給食センターでは3名の職員でチェックをおこなっている。

【問】特効薬エピペンが平成23年より保険適用となり保険適用すれば3千円程度と安くなっている。本人に持たすよう指導する考えは。

【答】現在、保護者からそうした要望は受けていない。

地域課題

地域コミュニティで
解決を

市長／支援していきたい



森脇悦朗

水期の安定した水量確保、そして過疎化や高齢化による水源の維持管理負担などの課題がある。制度の拡充については、期間の延長と上限額の引き上げを検討したい。

問 地域課題である水道未普及解消について、計画の見直しは。
答 現在の施設整備計画は、平成27年度で終了する。今後さまざまな整備手法、財源の有利な事業化等について検討はするが、安定経営の観点から当分の間新たな施設整備は、極めて困難な状況である。

問 飲料水確保について、課題認識は。確保対策事業の拡充を。
答 使用水源の飲料水としての水質確保、湯

問 生活交通手段確保のため、地域コミュニティ組織による輸送システムができないか見解は。
答 コミュニティ組織が主体で地域実情に適した生活交通の構築は、まさに自助・共助の姿。他の自治体では、道路運送法に制約されない範囲の非営利活動としての輸送実例



地域コミュニティ講演会（跡市地区）

がある。組織と市の協働により、住民の利便性向上を目指したい。
問 地域コミュニティ組織による地域課題解決実施について本市の見解は。
答 飲料水確保についての有償ボランティア活動は実践事業とは別に検討すべきと思う。他の課題解決についてはどういった支援ができるか検討する。いずれにしても地域で一生懸命汗を流して地域を守る取り組みに対しては支援していきたい。

治水事業

河川整備計画は

市長／説明会開催予定



藤田 厚

問 江の川河川整備計画は。
答 20〜30年間の河川整備計画を明記し、事業実施時期を鑑みながら地元説明会を実施するとしている。
問 八戸川の計画は。
答 河川整備計画の策定を県に働きかける。
問 都治川の事業は。
答 波積ダム案が最適であると国交省へ検討結果の報告を行った。

問 川越地区の下流部分の締切と田津谷川での計画は。
答 近く国交省から計画が提案され、説明会が開催予定。

問 上大貫の工事と宮の谷川までの計画は。
答 24年度工事は発注済みで梅雨までに行う予定。宮の谷川までは近く説明会を開催予定。

問 田津・下大貫の計画は。
答 田津地区は近く現地調査の説明会を開催予定。

問 21施設で桜江分は12施設。安全な民家等に協力も願います。また、防災無線やメールを

問 江の川河川整備計画は。
答 20〜30年間の河川整備計画を明記し、事業実施時期を鑑みながら地元説明会を実施するとしている。
問 八戸川の計画は。
答 河川整備計画の策定を県に働きかける。
問 都治川の事業は。
答 波積ダム案が最適であると国交省へ検討結果の報告を行った。

問 水害時、浸水が想定できる避難所は。浸水時の対応と連絡は。
答 21施設で桜江分は12施設。安全な民家等に協力も願います。また、防災無線やメールを

問 江の川河川整備計画は。
答 20〜30年間の河川整備計画を明記し、事業実施時期を鑑みながら地元説明会を実施するとしている。
問 八戸川の計画は。
答 河川整備計画の策定を県に働きかける。
問 都治川の事業は。
答 波積ダム案が最適であると国交省へ検討結果の報告を行った。



工事中的上大貫第2堤防

活用し、救助の視点で本年度7艘の救助艇増設・配備予定。
〔ドクターヘリ〕
問 ドクターヘリの運航実績と問題点・課題は。また、桜江地区にヘリポートの整備を。
答 県の出動件数は186件で現場救急73件。江津管内は12件。このうち桜江地区では5件です。問題や課題はない。ヘリポートについては防災ヘリポートの整備との関連もあり検討する。

大気汚染

PM2.5の測定器 設置を

市長／早急に対応



盆子原民生

(3月14日江津市に設置の発表あり)

【新エネルギー開発】

再生可能エネルギーの開発が待たれる。今、太陽光・小水力・地熱・バイオマス等、新たなエネルギー開発の考えは。

【問】大気汚染に含まれるPM2.5は、健康に悪影響を及ぼす。各地で濃度上昇が報告されているが、測定器の設置と迅速な測定結果の公表を。

【答】健康面において非常に問題があり、行動指針も発表され、県・環境省とリンクし測定結果を江津市ホームページに3月1日より公表している。濃度測定器設置については、県の関係機関へ要請し、迅速に結果報告ができるようにしたい。

【問】再生可能エネルギーの開発が待たれる。今、太陽光・小水力・地熱・バイオマス等、新たなエネルギー開発の考えは。

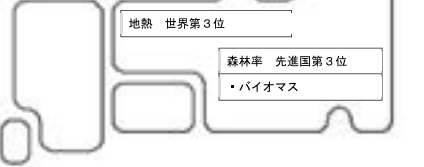
【答】具体的に言えば太陽光発電については、民間のメガソーラーが2カ所、県の企業局が1カ所計画。市においても取り組みを計画。地熱発電については経産省の補助事業を活用して可能性を調査する。森林資源を活用したバイオマス発電所も誘致する事業計画を進めていく。

日本の自然エネルギー

海面積(排他的経済水域) 世界第6位
・洋上風力・潮流・温度差・波力

地熱 世界第3位

森林率 先進国第3位
・バイオマス



【問】スマートシティを進めていく前提条件は、民間事業者と行政が一体となつて、意識を高める事にある。様々な再生エネルギーがあり、本市は各方面との連携を図り、実行委員会などの立ち上げに結び付けたい。

【答】スマートシティを進めていく前提条件は、民間事業者と行政が一体となつて、意識を高める事にある。様々な再生エネルギーがあり、本市は各方面との連携を図り、実行委員会などの立ち上げに結び付けたい。

経営管理

公共施設有効活用を

市長／しつかり取り組み



石橋 孝義

必要がある。

【問】公共施設の再配置・最適化を市民・地域との合意形成を図り、最終的な施設の有効活用について方向性を

【問】公共施設について、先立つ財源を考えた、量的不足の対応を「造る時代」から「使いこなす時代」へ移行する事が大切。保有資産の利用についてうかがう。

【答】施設の運営管理方法を従来通り固定化すると、行政コストを無駄に浪費し、市財政の余力は低下し続ける。保有する公共施設を詳細に把握し、新しいものを造る発想から、再利用・機能転換・複合化という発想へ転換する



川越地区体育館

を明確にすべきでは。【答】個々の施設の評価・分析をし、方向性を定めることが重要と考える。本市として、目的や目標を明確化し、その上で住民の皆様を理解を求めたい。施設の様々な情報を掲載した公共施設白書によって可視化していきたい。

医療対策

診療体制の見直しを

市長／広い視野で判断



山本 誉

緒になってやって行く。

問 小児医療・周産期医療の見直しは、夜間には浜田や大田、場合によっては出雲、益田での受診となる。関係機関との協議や調整を。

答 小児科の外来や緊急対応については非常勤医師を確保し、勤務

問 医師の高齢化や済生会江津総合病院の小児科医の退職で、4月からの診療体制に不安がある。今の状態が維持できるのか、市民への周知を。

答 済生会に限らず、県西部圏域では医師の退職で地域医療は切迫しており、危機的な状況にある。医療提供体制確保の見直しは極めて厳しい。保育所・小学校の保護者会などを対象とした場に出かけ、地域医療を守り支える取り組みを、市民と一

時間中は対応が可能だが、休日夜間の対応については入院の受付も含め困難。このため、江津・浜田の医師会ももとより、近隣の病院に本市の患者がお世話になることについて協力の要請をしている。

問 済生会の現在の診療水準の維持は医師や看



地域医療を支えるドクターヘリ

護師への負担となり、「倒れるか、辞めるか」となる。診療科やベッド数の削減提案を。

答 診療科の存続は、市民にとって最低限必要な地域医療を守る観点から、2次救急医療体制を維持する上で9診療科は必要。経営の視点からも考える必要がある。ベッド数の削減は病院経営の悪化や医療難民を出すことにつながる。広い視野での判断が必要。

平成25年
2月14
・15日

議会改革特別委員会研修会に参加

平成25年2月14・15日に議会改革特別委員会委員（6名）が福岡市で開催された議会改革集中講座に参加しました。

講師：廣瀬 和彦氏

（全国市議会議長会法制参事）

内容：政務調査費の使途基準の在り方
議会基本条例の意義と役割について

全国の市議会の状況を把握している廣瀬先生から課題とその解決方法について、各市議会の具体的事例を交えながら講義を受けました。参加者も全国各地から市議会議員が集まっていたので、質問等を通じ他市の状況を知る研修となりました。

各委員の研修報告は、
江津市ホームページに
掲載しています。



平成 25 年
2 月 6 日

江津市議会議員研修会を開催

江津市議会は、議員として必要な実務に関する研修又は議会全体で解決しなければならない課題解決に必要な専門的な研修を全議員対象に行っています。



平成24年度は、講師に野村 稔氏（元全国都道府県議会議事調査部長）をお招きし、「地方議会の活性化と議会報告会の進め方」と題して講演をいただきました。

国政が激動しているなかにあつての地方議会議員の役割や活動方法、また、執行部の考えを市民の皆様に伝えるだけの議会報告会とならないようにすべきであるなど、今後の江津市議会の在り方について各議員参考となる研修会となりました。

平成25年度 江津市議会 議会報告会

地区	西部	南部	中部	東部
会場	都野津公民館	谷住郷公民館	和木公民館	黒松公民館
日時	5月18日(土) 19:00~20:30	5月18日(土) 19:00~20:30	5月25日(土) 19:00~20:30	5月25日(土) 19:00~20:30
報告議員(予定)	茅島昇 石橋孝義 田中直文 山本誉	横田省吾 藤間義明 河野正行 土井正人	山根兼三郎 森脇悦朗 島田修二 永岡静馬	多田伸治 盆子原民生 藤田厚 福原昭平

☆ 3月議会での平成25年度当初予算の審議内容や各常任委員会の審査内容をお伝えします。

どこの会場へお越しいただいても構いません。お気軽にご参加ください。

☆ 5月1日発行の市議会だよりNo.115(本冊子)をご持参ください。

～昨年11月の議会報告会のようす～



▲西部会場
跡市公民館

南部会場▶
江津市コミュニティセンター



▲東部会場
浅利公民館



中部会場▶
渡津交流館

お知らせ

○次回定例会日程

6月7日(金)から

6月21日(金)までの

予定です。

○請願・陳情の

受付について

請願書及び陳情書の受付

は、本会議初日の**8日前の午**

前中までです。

(例)

6月定例会で、本会議初日

が6月7日の場合『5月30日

の午前中まで』となります。

それを過ぎますと、次定例

会(9月定例会)に付託・審

議されることとなります。

前回の議会便りNo.114に

おいて写真の入れ違いが発生

しました。原因は校正済み

データの印刷段階で写真デー

タの入れ違いで発生したも

でした。

最終刷りから各自治会への

発送までの短期間ではありま

すが、再点検の回数を印刷会

社と当委員会で増やすことで

再発防止に努めます。

編集後記

4月初め海辺に近い我が家近くの木立から、美しい音色のウグイスの鳴き声が聞こえてきました。また年が変わるごと春先にきれいな小鳥に出くわす機会が多くなつたのは私だけでしょうか。

さて「市議会だより」No.115をお届けする事が出来ました。今回は3月定例会議会を報告します。3月議会では平成25年度当初予算が大きな内容です。4頁から5頁に掲載しています。そして各地域で話題となっています。地域コミュニティについては、4頁・5頁・11頁・13頁をご覧ください(藤間義明)

編集・発行責任者

議長 河野 正行

議会広報・情報公開対策特別委員会

- 委員長 島田 修二
- 副委員長 横田 省吾
- 委員 多田 伸治
- 委員 藤間 義明
- 委員 山根兼三郎
- 委員 藤田 厚